

# 建築設計 (A 専門科目)

=====

科目名:

建築設計 (英文科目名: Architectural Design )

4 単位 建築学科 3 年 通年 演習

担当教官:

前期 羽鳥芳之 (非常勤講師・羽鳥芳之建築設計事務所)

後期 尾立弘史 (居室: 建築学科棟 2 階) Email:oryu@oyama-ct.ac.jp

授業目的:

建築を取り巻くさまざまな施設や小空間をいかにデザインするかを学んだ上で、具体的に木造住宅の設計・演習を行う。

達成目標:

住宅の基本設計ができる。

-----  
教科書:

特になし

参考書:

特になし各種建築・デザイン関連雑誌

学習方法:

予習-エスキースは自宅で前もって充分検討しておくこと

授業-課題説明と、各自のエスキースについての個別の検討が中心になる。課題が短期の場合と長期の場合があるので時間配分に注意すること

復習-授業中指摘されたことに対して必ず各自で検討すること

学習保証時間:

250 分[時間/週] × 15[週/前期]+150 分[時間/週] × 15[週/後期] = 100 時間/年

-----  
キーワード:

身の回りの小空間 住宅

授業内容:

以下のテーマは担当教官によって変更することがある

前期

- 1、ランドスケープデザイン演習・・・1 週
- 2、生活に必要な最小限空間・・・2 週
- 3、空間の組み合わせ・・・2 週
- 4、都市型住居・・・2 週
- 5、LDKを考える・・・2 週
- 6、小さな別荘・・・2 週
- 7、小住宅・・・3 週
- 8、講評・・・1 週

後期

- 1、住宅作品の収集・・・2 週
- 2、課題説明(木造独立住宅)・・・1 週
- 3、即日設計・・・1 週
- 4、模型によるエスキース・・・3 週

- 5、木造独立住宅のエスキース  
(平面、立断面、断面詳細)・・・3週
  - 6、木造独立住宅の設計・・・4週
  - 7、模型制作・・・1週
- 後期は「造形意匠」と併せて授業を行う

授業方法：

---

カリキュラム中の位置づけ：

建築教育の中で重要な位置をしめる設計演習の始まりである。設計演習は建築学科のカリキュラムの中核であり、すべての科目の内容をいかに設計に収斂させるかが重要とされる。また、設計演習には正解が無いことを理解する必要がある、各自の考え方をいかにまとめそれを表現するかが重要とされる。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

建築製図、建築製図 図学、建築一般構造

この科目と同時に学ぶ関連科目

建築計画、造形・意匠

この科目の後に学ぶ関連科目

建築設計、卒業設計

---

評価方法：

提出作品の内容と出席状況によって行う。定期試験は行わない。

連絡事項：

学生へのメッセージ：

できるだけ多くの建築雑誌やデザイン雑誌を見て読んで欲しい。そのことが、優れた独創的なアイデアのヒントになるのだから。

=====